

2022年4月開校 中等部情報公開 ～北海道大雪山国立公園に全寮制キャンパス開設～

2021年9月6日



(写真左：大雪山の山々に囲まれた山岳リゾート キャンパス設置予定の「層雲峡温泉街」)
(写真右：大雪山国立公園の中心に位置する「黒岳」に挑むインフィニティ高等部の生徒達)

インフィニティ国際学院は、2022年4月開校となる中等部のキャンパスを国内二ヶ所に構えることを発表します。北海道と奄美大島の国立公園および世界自然遺産でのデュアルキャンパスとなり、各々の持つ世界に誇れる環境の中でオンライン学習なども駆使した最先端の生きた学びを実現します。

インフィニティ国際学院高等部は、固定の「キャンパス」を持たず、「旅をしながら学び合う」をコンセプトにコロナ禍でも全国各地のフィールドをまわって学んできました。

今回、中等部開校にあたり、固定の「キャンパス」は持ちつつも、町全体でテーマや環境に応じた最適の学びを実現することを構想しました。地域住民や行政、地元企業とも連携しながら学びの場をデザインし実践します。



(図1：デュアルキャンパス概要)

今回公開するのはそのうちの一つ、日本最大の北海道大雪山国立公園内の層雲峡のキャンパスとなります。「北海道の屋根」2000m級の山々に囲まれた立地、「カムイミンタラ神々の遊ぶ庭」と呼ばれる雄大な大雪山系の麓で四季折々の魅力を感じることでしょう。全寮制となる施設とメインの教室は層雲峡温泉街の施設を活用し、地域と一体となって運営します。

所在地になる上川町とは、拠点となる層雲峡のキャンパス兼寮を起点に、町全体をキャンパスとし周囲に点在する町の施設資源などを活用し、さらには登山やスキーなど上川町ならではのアクティビティの体験など、連携を深める予定です。（参照：北海道・上川町「タウンキャンパス構想」）

インフィニティ国際学院中等部の特徴として、オンライン学習システムを活用した個別最適化された教科学習、自然豊かな環境下だからこそ実現できる地域課題解決やSDGsをテーマとしたフィールドワーク、また全寮制の生活を通じてチームワークや多様性理解を早期から体得します。



(図2：上川町タウンキャンパス構想案)

<上川町長 佐藤芳治様のメッセージ>

「現在、上川町は「世界に誇る通年型山岳リゾートタウン」をスローガンに、日本最大の山岳公園「大雪山国立公園」や「石狩川の最上流」のまちとして、この地域に住む人、働く人、旅する人、そして、さまざまな関わりを持つ人たちが豊かなライフスタイルやワークスタイルを実現できる場となることを目指しております。インフィニティ国際学院の関係者の皆様が自然豊かな上川町のフィールドで、地域内交流や学びを通し、さまざまな挑戦をされることを応援いたします。」

主に冬季に滞在するもう一つのキャンパスは、世界自然遺産に登録された鹿児島県奄美大島で2023年1月開校予定です。詳細は後日公開予定となります。

9月下旬に公開予定の中等部公式ページにてカリキュラムのコンセプトや2022年入学にむけた入試情報をお届けします。公開情報を希望される方は、インフィニティ国際学院・高等部ホームページ記載の申込みフォームからお問い合わせください。